

平成29年度事業報告

(期間:平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

1. 事業概況

平成 29 年度(2017 年度)の活動実績の概要は以下の通りです。

ひとの健やかでこころ豊かな未来を実現するための**研究調査事業(公 1)**、
科学情報普及事業として

- ・科学技術に関する研究会の推進
- ・市民公開講座の開催
- ・科学情報普及事業(成果の公開と出版、HP 運営)
- ・科学技術調査研究事業

ひとの健やかでこころ豊かな未来を実現するための研究に関する**助成事業(公 2)**を実施しました。

2. ひとの健やかでこころ豊かな未来を実現するための研究調査事業(公1)

(1)「ひと・健康・未来」の研究調査事業

(1)－①研究会の推進(未来研究会の開催)

●第27回 未来研究会

日 程:2017 年 7 月 11 日(火)

講 師:藤原 辰史(京都大学人文科学研究所 准教授)

テーマ:「ナチスのキッチン」

現代日本において、当たり前に使われているシステムキッチン。世界における共有キッチンから私有キッチンへの普及の始まりは世界大戦のドイツにあった。女性の家事の軽減と、その根底にはナチスの政策があったことを振り返る講演であった。

●第28回 未来研究会

日 程:2017 年 10 月 27 日(金)

講 師:西野 精治(スタンフォード大学医学部 教授)

テーマ:「スタンフォードと睡眠医学」

スタンフォードが中心となって設立した「睡眠医学」の歴史と現状、睡眠障害が健康

に及ぼす影響や良質の睡眠のとり方について解説。

●第29回 未来研究会

日 程:2017年11月25日(金)

講 師:斎藤 環(筑波大学大学院人間科学総合研究科 教授)

テーマ:「対話から健康生成へ」

フィンランドで開発された「オープンダイアログ」は、近年急速に注目を集めつつある精神疾患のケア技法である。対話のみで改善が起こるメカニズムについて。

●第30回 未来研究会

日 程:2017年12月8日(金)

講 師:矢部 富雄(岐阜大学応用生物科学部 教授)

テーマ:「食物繊維から腸管へのメッセージ:多糖類に秘められた化学情報」

「腸管は栄養吸収以外に食品成分に秘められた化学情報を読み取る機能を有する」という仮説を、食物繊維のペクチンを用いた検証で解説。

●第31回 未来研究会

日 程:2018年1月26日(金)

講 師:浅原 貴美子(山中油店 取締役営業部長)

テーマ:「京の油商人の、昔と今とこれからと」

創業 200 年の山中油店、その商売のこだわりと日本の油の歴史、今話題のオリーブオイルについて。

●第32回 未来研究会

日 程:2018年3月30日(金)

講 師:山岡 昌之(日本摂食障害治療研究所 所長)

テーマ:「愛情ホルモン・オキシトシンと摂食障害治療—再養育療法—」

現代病といわれる摂食障害の事例報告と対処法としての再養育療法について解説。

(1)－②市民公開講座の開催

●『第15回 ひと・健康・未来シンポジウム2017広島』

開催日:2017年7月15日(土)

会 場:ホテル広島サンプラザ

テーマ:「加齢を知る、老いを健やかに」

後 援:中国新聞社

参加:192名

2016年12月に浜松で開催したシンポジウムを広島で開催。自然科学、経済学、医療・心理学の3つの観点から「老い」を考えた。老いを前向きにとらえていただく良い機会となる。

●『第16回 ひと・健康・未来シンポジウム2017金沢』

開催日:2017年10月15日(日)

会場:石川県文教会館 ホール

テーマ:「身体とこころの不思議な関係 -『健康』の未来を考える-」

後援:京都大学こころの未来研究センター、金沢市、北國新聞社

参加:97名

プラシーボ効果など、身体とこころの関係を、認知科学、漢方、精神医学のそれぞれの立場から検証。症例が多く紹介され、分かり易いシンポジウムとなった。

●『第17回 ひと・健康・未来シンポジウム2017京都』

開催日:2017年12月16日(土)

会場:京都大学百周年記念ホール

テーマ:「京男を元気に ~医療とコミュニティで生き活きと~」

後援:京都市、京都市教育委員会、京都市社会福祉協議会、京都新聞

参加:140名

シニア男性層を対象に、テストステロンの有効性や、伝統文化からみた男性の魅力など、生き活きと生活するための多くのヒントが紹介された。

●『第18回 ひと・健康・未来シンポジウム2018京都』

開催日:2018年3月24日(土)

会場:京都烏丸コンベンションホール

テーマ:「人間の家族に未来はあるか?!—子育てと介護に希望を紡ぎ出す発想」

後援:京都市、京都市教育委員会、京都市社会福祉協議会、京都新聞

参加:83名

家庭が家族の居場所であるため、育児・子育て期の親子に、介護期の親子に、家族の未来に希望を紡ぎ出す発想が紹介された。シンポジウム終了後も熱心に意見交換が続いていた。

(1)－③成果の公開と出版事業(出版)

市民公開講座、未来研究会の成果をより多くの人々に周知する為に、機関誌「ひと・健

康・未来」を発刊しています。更に、ホームページ上で開催告知や機関誌情報をPDFファイルにして情報を公開しています。

◆「ひと・健康・未来」13号(2017年6月発刊)

- ・ひと・健康・未来シンポジウム2017京都
「ストレスを人生のスパイスにする！ーストレスを知る・科学する・生かすー」
- ・スペシャルインタビュー
「下手で不器用で臆病でも自分らしく生きる」
- ・第24回 未来研究会
「作物と再生可能エネルギーを同時に作る新規な農業ー強い農業と新産業の創出へー」
- ・研究助成採用者レポート
- ・道草「海外の温泉」

◆「ひと・健康・未来」14号(2017年9月発刊)

- ・スペシャルインタビュー
「好きなものがあれば制約のなかでも 自由に生きることができる」
- ・第25回 未来研究会
「検察の機能と役割」
- ・研究助成採用者メッセージ
- ・第26回 未来研究会
「弱者の戦略ー雑草は踏まれても諦めないー」
- ・研究助成採用者レポート
- ・2017年度助成研究事業報告

◆「ひと・健康・未来」15号(2017年12月発刊)

- ・ひと・健康・未来シンポジウム浜松・広島
「加齢を知る、老いを健やかに」
- ・スペシャルインタビュー
「サバからマグロを創るという夢への挑戦」
- ・第27回 未来研究会
「ナチスのキッチン」
- ・2018年度研究助成公募要領

◆「ひと・健康・未来」16号(2018年3月発刊)

- ・ひと・健康・未来シンポジウム2017金沢
「身体とこころの不思議な関係」
- ・第28回 未来研究会
「スタンフォードと睡眠医学」

- ・助成研究発表会 特別講演
- ・研究助成採用者レポート
- ・新コラム「ゴリラレポート」の連載が始まりました。

(1)－③成果の公開と出版事業(HP)

財団からの情報を、より多くの方にご覧いただけるようホームページを運営しています。内容の見直しや、情報の更新に注力しています。

(1)－④科学技術調査研究事業

「超高齢社会における健康長寿、終末期医療に関する国際共同研究」

福原 俊一／京都大学大学院医学研究科

「糖・脂質代謝異常を惹起する脳内炎症の解明と食品による改善に関する基礎研究」

後藤 剛／京都大学大学院農学研究科

「関係性を生きる力に関する研究」

木村 直子／鳴門教育大学

◆研究成果の公開

上記3つの研究成果は、学術論文にて公開するほか、ホームページ上に掲載する予定です。

3. ひとの健やかでこころ豊かな未来を実現するための研究に関する助成事業 (公2)

(1)「食品」、「環境」、「医学」、「福祉」をテーマとする公募による研究助成

2017年度の応募総数は494件であった。

応募の内訳、近年の傾向は下の表をご参照ください。

6月26日(月)に選考委員会を開催し、2017年度の採用が決定。

採用件数22件(食品4件、環境4件、医学10件、福祉4件)

■2012年からの公募件数の推移

分野	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)
食品	23	55	60	97	104	102
医学	98	156	137	210	272	268
福祉	19	49	54	67	94	85
環境	9	15	23	42	42	39
応募総数	149	275	274	416	512	494

<食品>採用件数:4件

「高脂肪食で高度肥満する遺伝子欠損マウスの解析による
体重の上限を決める仕組みの解明」
新谷 隆史／基礎生物学研究所 統合神経生物学研究部門

「高齢者がおいしく食事をするための味覚調査」
林 由佳子／京都大学大学院 農学研究科

「自分の食事量を自覚できているか ～肥満予防・改善のために～」
中島 里美／東北女子短期大学 地域文化センター

「食事因子との相互作用により脂肪肝を誘導する原因遺伝子の同定」
小林 美里／名古屋大学大学院 生命農学研究科

<環境>採用件数:4件

「鳥類資源の保全を目指した鳥類始原生殖細胞の培養技術基盤の確立」
齋藤 大介／東北大学 学際科学フロンティア研究所

「団地における住環境が住民の健康度・幸福度に及ぼす影響に関する研究」
片山 律／千葉工業大学 工学部

「身近な都市近郊低地林環境の保全と環境教育への展開
—植物の生活史研究を基礎として—」
大原 雅／北海道大学大学院 地球環境科学研究院

「自然公園における住民自立型環境ガバナンスの形成に関する調査と
モデル構築の試み」

黄 琬惠／京都大学 学際融合教育研究推進センター

<医学>採用件数:10件

「免疫と脳をつなぐ記憶メカニズムの解明と新規ワクチン戦略の創出」

高田 健介／北海道大学大学院 獣医学研究院

「こころの健康を見える化するための

非侵襲的磁気刺激法を用いた神経生理学的予防医学」

野田 賀大／慶応義塾大学 医学部

「脂肪組織リモデリングによるリバウンドの新たな分子機構の解明」

田中 都／名古屋大学 環境医学研究所

「食品成分による遺伝子スイッチ調節の定量的イメージング」

山口 藍子／群馬大学大学院 医学系研究科

「VR ゲームは認知機能を改善するか？」

幸 篤武／高知大学 教育研究部

「出生後にみられる白色脂肪細胞の分化発達における順応性獲得機能と

そのエピジェネティック制御機構について」

細田 洋司／国立循環器病研究センター 研究所

「食品成分ゲラニルゲラニオール

の加齢に伴う骨格筋量と筋力低下に対する予防効果の検討」

古株 彰一郎／九州歯科大学 分子情報生化学分野

「納豆菌による腸管を起点とした口腔免疫機構の活性化の検討」

小林 良喜／日本大学 松戸歯学部

「情動中枢に着目した過剰摂食における脳内神経活動変化の解明」

竹本 さやか／名古屋大学 環境医学研究所

「ICT を用いた糖尿病患者の重症化予防支援による

アクティビティの変化と医療費への影響」

山下 和彦／大阪大学大学院 医学系研究科

<福 祉>採用件数:4件

「地域に根ざした共生社会づくりの実践と地域の未来を見すえた変革ストーリーの共創」

露木 真也子／県立広島大学大学院 経営管理研究科

「生態資源利用による社会的包摂:

雇われなくても働ける労働観と自然と向き合う観察眼の再生」

綱島 洋之／大阪市立大学 都市研究プラザ

「不安定就労が若年層の自殺リスクに与える影響とメカニズムに関する実証研究」

平野 孝典／桃山学院大学 社会学部

「精神障害者の就労継続に関する研究 ―自己効力感に着目して」

福間 隆康／高知県立大学 社会福祉学部

(2) 第 15 回 助成研究発表会

2017 年 11 月 18 日(土)メルパルク京都で開催。本年度も 28 名から研究成果についての発表がありました。発表はポスター方式でおこない、優秀発表者を表彰しました。更に、助成研究の意義を周知する目的で一般市民を招待し、特別講演会を開催。講演は当財団の山極理事。本年度の内容を吟味し、次年度以降の発表会の見直しを図ります。

4. 評議員会及び理事会に関する事項

(1)平成 29 年 3 月 6 日開催 定例理事会

議事内容	審議結果
平成 29 年度事業計画案	承認
平成 29 年度事業収支予算案	承認
平成 29 年度資金調達及び設備投資の見込み	承認
平成 29 年度選考委員選出	選出
平成 28 年度職務執行状況報告	理事長、副理事長より報告

(2)平成 29 年 5 月 15 日開催 定例理事会

議事内容	審議結果
平成 28 年度事業報告	承認
平成 28 年度決算報告	承認
次回評議員会の招集	平成 29 年 6 月 16 日開催決議
平成 29 年度職務執行状況報告	理事長、副理事長より報告

(3)平成 29 年 6 月 16 日開催 定時評議員会

議事内容	審議結果
平成 28 年度事業報告	理事長より報告
平成 28 年度決算報告	承認
平成 29 年度事業計画	理事長より報告
平成 29 年度事業収支予算	理事長より報告
平成 29 年度選考委員選任	理事長より報告
役員選任	決議

(4)平成 29 年 6 月 16 日開催 臨時理事会

議事内容	審議結果
理事長、副理事長の選任	決議
平成 29 年度職務執行状況報告	理事長、副理事長より報告

(5)平成 30 年 3 月 5 日開催 定例理事会

議事内容	審議結果
平成 30 年度事業計画案	承認
平成 30 年度事業収支予算案	承認
平成 30 年度資金調達及び設備投資の見込み	承認
平成 30 年度選考委員選出	決議
平成 29 年度職務執行状況報告	理事長、副理事長より報告

以上